

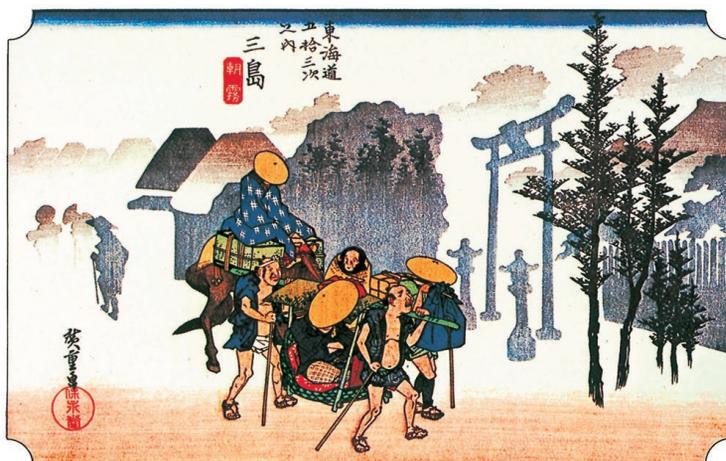


R I. 第2620地区 静岡第2分區  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2055号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島  
TEL(055)984-0120  
会長 鈴木 郁夫 幹事 前田 房江



広重版画より 三島 朝霧

## 第2118回例会

2016.5.26 曇

司 会 古川喜仁君

ロータリーソング 「それでこそロータリー」  
指揮 平出利之君

会長挨拶 会長 鈴木郁夫君

先週2つのテーブル会にお招きいただきましたが、その一つの帰りに、せせらぎ亭の入り口のわきに咲いていた白い花を、伊丹さんから一枝いただきました。梅花うつぎというそうですが、食卓の一輪挿しにさしておいたところ、かわいらしい白いつぼみが次々と花開き今もお咲いていて、生命力の強さを感じました。インドでは51度という史上最高の気温を記録し、首都圏だけで今まで440人以上がなくなったという驚くべきニュースが飛び込んできましたが、日本では今日より伊勢志摩サミットが始まります。昨日は安倍首相とオバマ大統領との共同記者会見が行われましたが、沖縄の事件や広島訪問のことについては、一つ一つの語句にかなり気を使いながらお話ししているなどという印象を受けました。サミットや広島訪問が無事終了し、将来に希望の持てる実りの多い成果が出ればと思います。

さて22日の日曜日には三島商工会議所で三島市国際交流協会主催による第23回三島国際交流フェアが開催され、当クラブも共催という形で参加いたしました。当日は移動例会という形で、30名以上の会員が出席されました。三島市国際交流協会は、三島市民と外国の人々との友好親善をテーマに、国際時代にふさわしい街づくり、人づくりに貢献することを目的として1992年に設立されました。西クラブもこのフェアに、在日の外国人との交流をはかり、相互理解と友好親善を深めるとともに、ロータリーの認知度の向上を図ることを目的として参加しています。また三島市国際交流協会には、相談役の小野さん、会長の平出さんをはじめとして、本会からも多くの会員がかかわっています。会場では焼き鳥、ビール、清涼飲料水の販売を行いました。多数の会員の皆様にご協力をいただきました。あらためて感謝を申し上げます。会場には日本の文化や遊びを紹介するコーナー、お茶席、ドイツ、ブラジル、中国など世界7か国の料理を実演販売するコー

ナーもあり大変盛況でした。会場の奥、白滝公園に面したコーナーではテーブル席があり、西クラブのメンバーがテーブルを囲んでビールを飲み、世界の料理を食べながら、文字通りのテーブル会が開かれ、いろいろな話題で大変盛り上がりしました。

本年度の外部での行事は今回で最後です。おかげをもちましてここまで無事に終えることができました。残りの期間、次年度にスムーズにつなげていければと思っています。

“こんにちは、ようこそ”  
ビジター 稲葉良弥君(三島RC)

### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	29/37	78.38%	31/37	83.78%
今回	38/45	84.44%	会員総数	48名

欠席者 石井(良)君、窪田君、佐野君、橋本君、藤江君、矢岸君、山口君

### 幹事報告

幹事 前田房江君

- ①5月22日(日)三島の国際交流フェアに大勢の方に参加戴きましてありがとうございました。
- ②せせらぎ三島ロータリークラブより2月20日開催の『国際ロータリー第2620地区静岡第2分區IM』の報告書ができて配布されました。
- ③東京麹町RC発行『思い出草』が50周年記念事業として復刻されました。事務局に預けておきますのでご覧ください。

2015~2016年度  
国際ロータリー会長  
K.R.ラビンドラン

世界へのプレゼントになろう

## おめでとう

会員誕生日 花房君、小野君、大石君  
入会記念日 栗原君、森崎君  
結婚記念日 千葉君、宇田川君

## スマイルボックス

- ◆小野君、先月がんセンターでリンパ腺ガンの5年目のPET検査で大腸部分で疑わしい部分があり、大腸検査とポリープの除去手術を4月27日受けました。結果は5月20日すべて疑わしい所は晴れ、完全治癒の通告をいただきました。誕生日をはさんでの事であり自分の誕生日をまともに祝う事が出来ませんでした。遅ればせながら先日行うことが出来ました。
- ◆ゴルフ同好会、ゴルフコンペを5月15日(日)に三島ゴルフ倶楽部で開催しました。優勝遠藤眞道さん・準優勝西本さん・3位鈴木郁夫さんでした。次回は、6月19日(日)に中伊豆グリーンクラブで開催します。
- ◆伊丹君、6月2日、沼津文化センターで田川寿美、北川大介様達と歌の前座をやることになっていますけど、風邪気味で困っています。
- ◆前田(博)君、先日、私の最愛の女房が静岡県アマチュアゴルフ大会シニアの部で42,39にて優勝してしまいました。なんと秋に静岡県の代表として全国大会に出場するらしいです。
- ◆Eテーブル、5月19日テーブル会を行いました。楽しい会になりました。

## 卓話

### 進化・DNA・三島

森崎祐治君

・初めに

前回の卓話は、地元出身の幕末の侠客、大場の久八について話しました。今回は地元国立遺伝学研究所の木村資生先生(故人)の「中立進化説」を取り上げてみたいと思います。

・進化論の発展とDNA

地球の誕生は今から46億年前で生命は約40億年前に誕生したと言われています。人類が生まれてから約200万年経ちますが科学の急激な発達はこちら200~300年の出来

事です。この進歩により人類は3度大きく失望したと言われています。それは、地動説(コペルニクス)進化論(ダーウィン)そして無意識の意識(フロイト)です。地球を中心に世界は回っている、人間は神の創った特別な存在、そして自分のことは自分がすべて知っている。これらを人は覆されてしまいました。

ダーウィンは、20年にもわたり集めたデータを基に、生物の多様な系統関係が「進化」というメカニズムによって説明できる可能性を緻密に「種の起源」(1859年)に著わしました。突然変異を起こした「種」が、生存に有利な場合は残され、そうでない場合は排除されることで有利な変異を持った「種」がその生物種全体に広がるといういわゆる適者生存(survival of fittest)を説きました。

この進化論は1968年に再構築されます。これが国立遺伝学研究所の木村資生氏による「中立進化論」です。木村氏は集団内で生じる遺伝的変異はほぼすべて適応度(環境に対する能力)に対して中立であると考えました。つまり変異が残るかそうでないかはまったく「運」に依存すると説きました(ダーウィンは有利に働く変異が種に残ると考えた)。このような過程を「遺伝的浮動」と呼び、進化の原動力であることを数学的モデルから明らかにしました。木村氏は「幸運者生存(survival of luckiest)」という言葉でこの理論を端的に表現しました。

これは、DNAの発見以降の分子生物学の発展に負うところが大きく、以後ヒトが生物として「汝自身を知る」を膨大なデータ蓄積と解析を経ながら今日はさらに「汝自身を創る」段階へと入ってきています。

様々な生物のDNAが今日解読されています。ちなみに人は約30億塩基対(文字)から構成されています。これらDNAは世界3か所にあるデータバンクに登録されています。アメリカの国立衛生研究所、欧州の欧州分子生物学研究所、そして日本はご当地三島の国立遺伝学研究所にそれらの施設はあり互いにデータの共有を行っています。

・生物カレンダー

地球誕生から約46億年を1年に換算すると7月に酸素に富んだ大気出現。9月に動物、植物の分化、11月半ばに脊椎動物出現、12月前半恐竜の時代、種の95%が減った時代もあるそうです。そして12月半ばに哺乳類出現、人類の誕生は12月31日午後8時ごろ、農耕や文字の文明が現れる1万年前は午後11時59分、そしてここ300年の自然科学の発達はなんと最後の2秒ということになります。

・おわりに

長い歴史と今日の加速度的なヒトによる影響大の地球の変化。爆発的な人口増と環境への影響。ネット社会やグローバル化、CO2の大量排出や万という数の核兵器の存在など。

我々は大変な時代を生きていることがわかります。

たまには遠目に違う世界のことや遥かな時代の流れを考えたり感じたりしてみることも大事ではないでしょうか。

(週報担当:遠藤眞道)